

# 魚かすのパワー 水稲用ユキパー

元肥と追肥に使える有機肥料

有機JAS規格適合

お米が美味しい

有機栽培の肥

魚かすを主体に、動物質・植物質の安全な有機質と鉱物質のミネラルだけを当社独自培養の“ライズ菌”で完全発酵させた有機特殊肥料です。一般的にボカシ肥とよばれるものです。化学合成物質はもちろん、畜糞や汚泥もいっさい使用しておりません。

## 水稲用ユキパーの特殊肥料特性

**成分量** 水稲用ユキパーの基準施肥量は10a当り6~8袋(90~120kg)です。

成分量：窒素-5.4~7.2kg、リン酸-3.6~4.8kg、カリ-0.8~1kg

窒素、リン酸成分は水稲栽培に十分な量です。カリ成分は不足ですが稲わらのすき込みを行えば、わらや稲株の分解したもののからの成分を加味できますので十分です。

**即効性** 有機質肥料でありながら化学肥料と同じくらいの即効性があり**3日**で効き始めますので元肥だけではなく、**追肥**にも十分効果を発揮します。

**持続性** 有機質肥料の特性であるゆっくり効く部分も持っていますので、早い時期から効いて長期間持続します。

**完全発酵** 完全発酵有機質なので、生の未発酵有機質特有の土中のワキがなく根いたみ、生育障害の心配がありません。

**十分なリン酸分** リン酸成分の割合は慣行の施肥量に比べて少ないように思われますが、水稲用ユキパーのものは有機質内に存在しており、水に溶ける部分が少なく、稲の根が必要とする分だけ効率よく徐々に十分に供給されます。  
(地力の無い圃場や天候不順が心配される場合はリン酸肥料の併用をおすすめします。)

**発酵菌が生存** 水稲用ユキパーのなかに発酵菌が多数生きており稲わら、もみがら、稲株、堆肥の発酵分解が早くすすみ有効成分が稲によく供給され地力が向上します。

**アミノ酸効果** 原料の魚かすにたくさん含まれている食味を上げるアミノ酸が発酵によって稲に吸収されやすくなっていますので**米の食味が上がります**。幼穂形成期から穂揃期の追肥に使用しますとアミノ酸が穂の充実に効果を発揮します。

## 水稲用ユキパーの施肥方法

● **元肥** 元肥全部を水稲用ユキパーで施肥する場合は代かき直前に散布しすき込みます。堆肥を多く入れる場合や米ぬかを使用する場合または化学肥料と併用する場合は水稲用ユキパーの量を減らします。

**元肥 施肥量**：6~8袋、窒素成分5.4~7.2kg

● **追肥** 分けつ肥~穂肥~実肥に使用できます。

**分けつ肥** 出穂40日前まで **施肥量**：1~2袋、窒素成分0.9~1.8kg

**穂肥** 出穂25~10日前 **施肥量**：1~2袋、窒素成分0.9~1.8kg

**実肥** 出穂から穂揃期(出穂10日目)まで **施肥量**：1~2袋、窒素成分0.9~1.8kg

※窒素不足稲への水稲用ユキパーでの適量の追肥は食味低下の原因にはなりません。

※倒伏しやすい品種では施肥量、時期を吟味して行って下さい。

## 水稲用ユキパーの効き方

■ 無効分けつが少なく、登熟歩合が高いのでくず米が少なく良品質米を収穫できます。

■ 節間がつまみやすいためたけは低めとなります。

■ 過繁茂や徒長がないため倒伏や病気、天候不順にも強くなります。

■ 葉色がさめたところに追肥に使用しますと即効的に葉色がでます。

(有)花巻酵素